日本建設機械化協会
J.C.M.A.

建設の機械化

1981 年 10 月号　No. 380

目　　次

□巻頭言　開発途上国での建設機械運用について
……小栗良知／1

□昭和 56 年度官公庁の事業概要（3）
通商産業省電源開発事業の概要……立花勲／3
首都高速葛飾江戸川線の計画……入山潔／10
首都高速横羽（2期）線における鋼管矢板の施工
……熊谷糺／加藤壱彦／15
南北備讃瀬戸大橋 5P ケーソン設置工事……松本克己／熊谷元伸／25

グラビヤ——南北備讃瀬戸大橋ケーソン設置工事
横浜市高速鉄道 1 号線工事

横浜市高速鉄道 1 号線上永谷～戸塚間の工事概要
……田中日出雄／33
□随想　山江春秋……佐久間博信／40
クライミングクレーンによる送電鉄塔の建設……山口美明／千田昌平／44
粉体噴射撹拌による新しい地盤改良工法……安達徑治／青井実／49
J.C.M.A. アジア建設機械化視察団報告……／53
□部会研究報告
油圧ショベルの騒音レベルの実態……機械技術部会ショベル技術委員会／57
□新機種ニュース……調査部会／62
□文献調査
アースウォーム工法は在来のトンネルジャッキ工法にとって脅威となるだろう／ユニトンネル工法（アースウォーム工法）の実践
……文献調査委員会／66
□整備技術
コンピュータによる機械メンテナンス（その 3）……整備技術部会／68
□支部便り
支部通常総会開催（関西，中国，四国，九州）……／70
建設機械優良運転員・整備員の表彰
（関西，中国，四国，九州）……／75
□統　計
建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移
……調査部会／77
行事一覧……／78
編集後記……（天野・牧）／80

◀表紙写真説明▶
カトウ HD-880 SE
全油圧式ショベル
株式会社　加藤製作所

本機は時代の要請に基づく省エネルギー，低騒音化などの特徴を織り込みユーザニーズを広く採り入れた新鋭機である。高出力直噴エンジンの搭載により 25% の省燃費を実現した。さらに油圧ポンプ機構に独特のフルパワーコントロールシステムを採用，パワーとスピードアップを同時に可能とし，掘削性能，複合操作性，機動性の大幅な向上を図っている。市街地工事，夜間作業も可能な独自の低騒音設計〔67dB(A)〕になっており，かつ耐久性もより一層向上させた。運転席まわりも一新され，居住性，操作性，グリースパス式を採用した整備性など細部にわたり新技術を盛り込んでいる。

≪主な仕様≫

バケット容量	0.5～1.3 m³（標準 0.9 m³）
最大掘削深さ	6,650 mm
垂直掘削深さ	5,990 mm
エンジン出力	149 PS/1,600 rpm
全装備重量	22,500 kg